

飯塚市・嘉麻市・桂川町が連携し、実施されているイクボス推進事業の

取り組みについてインタビュー

女性が明るく前向きに活躍できる職場を目指して

会社も社員も、もっともっと幸せに!!



Tomomi
Nagano

飯塚市役所 市民協働部
男女共同参画推進課

課長 永野 智美さん

「女性活躍推進法」をご存知ですか。日本では「男性は遅くまで外で働き、女性は家庭を守る」という性別による固定観念が今も根深く残っており、出産や子育てといったライフイベントをきっかけに仕事を辞めざるを得なかったり、キャリアを積む機会を失ったりする女性が多くいます。

女性活躍推進法は、そういった状況を打開するために、職場における女性の活躍を後押しする法律として平成27年9月に施行されました。

女性が妊娠・出産を経ても働き続けられる環境整備、育児や介護をしながらキャリア形成ができる働き方の見直しや意識改革を推進することで、働く

側にとつて働きやすい職場環境が構築されるだけではなく、企業は優秀な人材の確保、生産性やブランドイメージの向上にもつながることから、飯塚市では嘉麻市・桂川町と連携し、女性活躍推進事業の一環としてイクボス推進に取り組んでいます。

日本は深刻な人口減少と少子高齢化による労働力人口の減少が問題とされていますので、今後、性別にかかわらず、子育て、介護や病気等により働き方に制約のある人も増えるでしょう。女性に限らず全ての人のとつて働きやすい職場環境をつくるためのきっかけが女性活躍推進なのです。

※イクボス＝部下や組織を育て、結果を出す管理職

発行冊子のご案内

イクボスマガジン PART1



イクボスマガジン PART2



イクボスマガジン PART3



これまでに発行したイクボスマガジンはコチラ!! 全3冊のマガジンには、事業所ごとのイクボス宣言内容や取り組み、その後の変化などを掲載しています。

お問い合わせ先

飯塚市役所 市民協働部
男女共同参画推進課

TEL.0948-22-5500

内線 1425 FAX.0948-22-5526
〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号

HPIは
コチラ



CHECK

職場で共に働く部下、スタッフのワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績を出しつつ、自らの仕事と私生活を楽しむ事の出来るボス(経営者・管理職)のことを指します。

イクボスマニュアル のご紹介



—しました!

自分達の働き方を確立し、多様な職種で活躍する
3人の女性に「イクボス」についてインタビューしました!

古き良き文化を受け継ぎ、新しきを知る。永く続いてきたからこそその
技術や経験を受け継ぎ新しい風は取り入れ、より良いものを次世代へ

Fumi
Ishibashi



株式会社みぞえ住宅

飯塚で創業80周年。住宅に限らず、建設・花屋・絵画等暮らしに関する幅広い事業を展開しています。

働き方改革
推進責任者 石橋 芙美

私たちの会社では、創業80年と長く続いているだけに、良い面もあれば今の時代に合っていないと思うような事もありました。永年勤続の社員も多く、昔ながらの雇用体制や働き方を、今の時代に合った働き方に改善し、若い年齢層の人材が会社にどう定着していくのか、また女性社員が長く働くための体制をどう整えるのかなど全体的に見直す必要がありました。今までの働き方を目線を変えて見ることで、業務のムダな部分が見えてきたり、任された業務は自分で解決しないとイケないという責任感から、一人で抱え込み業務の負担が増えるといった悪循環を起こしていたことがわかりました。業務の見える化をし、協力体制を整えることが功を奏し、「団結力」が強まるとともに社員一人ひとりの働き方の改善意欲をより高めています。私自身も男性社員が多い職場の中で働いていますが体調を崩し、急に休暇を取得した際でも、しっかり周りの社員がフォローしてくれるため業務に支障をきたすこともなくなりました。今後は新しい世代を育てる事が重要だと思いますし、働き方の変化にも柔軟に対応できるように、テレワーク・在宅勤務も視野に入れ、新たな人材確保や女性の管理職の育成にも力を入れていきたいと考えています。



Aoi
Yoshitake

九州スズキ販売株式会社
飯塚支店

スタッフが働きやすい環境づくり、
そしてお客様との末永い信頼関係づくりを
何よりも大切にしています。

営業 吉武 葵

男性の営業が多いの職場で、家庭を持ち子育てをしながら
女性が働き続ける事のできる環境は、全体の業務改善にも

車のディーラーは営業職のほとんどが男性です。来店されるお客様もご訪問を希望されるお客様もお仕事をされている方が多く、私たちが先方の時間に合わせ働くことになり勤務時間内に終わらない事もあります。このような状況では、女性の営業職だけではなく全体的に働き手を見つける事が困難になったり、今働いているスタッフのモチベーションを保つのが難しくなり退職者を出してしまったりと、結果的に人材を確保できず業務がまわらないという悪循環につながってしまいます。そこで、働き方改革という一つの施策をきっかけに、自分自身の経験を生かし、有給休暇や育児休暇の取得促進、作業の分担化などスタッフが休みを取りやすい環境づくりに徹底して取り組んできました。実際、私自身も小さな子どもがいる環境で結婚、出産、育児と正直この仕事に戻れるのか悩みましたが、産休、育休を経て営業として復職しました。その際に休暇を取る前よりも働きやすい環境が整っており、子育てをしながら働いている今の方が充実しています。女性が笑顔で活躍し働ける職場づくりだけでなく、今後は男性スタッフの育児休暇の取得のためにスタッフみんなでフォローし合える会社になるよう取り組んでいきたいと思っています。

人と接する事の多い職場なので最高のコンディションで
自分自身の持ち味を活かして働ける柔軟な勤務体制を

介護職は一般的に女性職員の割合の多い仕事です。女性ならではの役割の多様性、例えば妻や母親、介護者など、仕事以外にも多々あり、皆さんそれぞれその役割を担いながら働いています。また様々な年齢層の職員が在籍しており、心身の状況、家庭環境などそれぞれ異なります。意欲的に働いてキャリアを積みたい若手職員から迅速には動けなくても利用者様に安心感を与えるベテラン職員まで全員が同じ業務をこなすのは難しく、ライフステージに応じた働き方が求められます。また、介護の仕事は力仕事も多く、年齢とともに難しくなる業務もあります。勤務時間や業務内容を調整し、お互いに声を掛け合いながら職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすいシフトや得意分野を活かした業務内容に調整するなどの工夫をしています。実際には定期的な会議などを通じて、今の仕事の内容に関してやづらいと感じていないか、また今以上に気持ちの良い職場にするにはどうしたらいいのかなど意見や提案を出し合い、改善しています。私自身も改善に努めていますが、子育てに関する支援は十分とはいえないため、家庭内での役割も果たしながら、キャリアアップしていきたいと考えている職員を支え育てるためにも、もっと職場環境作りにも力を入れ、男女問わず子育てをしながらも働きやすい環境にしていきたいと思っています。



Kaori
Miyamoto

医療法人夢結
良創夢リハビリテーションセンター

利用者様、職員ともに、
生活に対する夢を創りそれを支援できるよう
笑顔あふれる施設を目指します。

部長 宮本 香織